

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることがありますので、取り扱いにご注意願います。

事業者資料

JFE 扇島火力発電所更新計画

環境影響評価準備書に関する補足資料

5. ハヤブサの餌となる鳥類について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
------------------------------------	---

平成 28 年 5 月 24 日

JFE スチール株式会社

5. ハヤブサの餌となる鳥類について

【質問】

上位性種としてのハヤブサの餌ですが、ハシブトガラスについては、餌として捕食するのですか、説明いただきたい。

【回答】

ハヤブサの餌について、文献等で示されている結果は表5のとおりです。

「図鑑日本のワシタカ類」（文一総合出版、1998年）によれば、「餌はほとんどが鳥類で、10gに満たないキクイタダキから、2,000gもあるガン類やサギ類までかなり幅広く捕っている。しかし、捕獲数が多いのは雄で20～200g、雌で100～1000gの鳥である。」と記載されています。

また、「日本動物大百科 鳥類Ⅰ」（平凡社、1996年）には、「食物はほとんどが鳥類で、一般にドバト、ムクドリ、ツグミ、タゲリ、ヒヨドリ、コガモなどが高い割合を占めるが、地域によってかなりの差がある。」、「神奈川県猛禽類レポート」（神奈川県野生生物研究会、2005年）には、「ハト類、シギ・チドリ類の中型鳥類が主食だが、小鳥やガン・カモ類などの大型の鳥類を捕らえることもあり、かなり幅広い食性である。」と記載されています。

このようにハヤブサは、ほとんどの鳥類を捕食対象としていると考えられることから、餌資源のポテンシャルとしての鳥種を設定いたしました。

なお、ハシブトガラスと特定した国内文献は確認できませんでしたが、「金華山の鳥類相—補遺—」（宮城教育大学環境教育研究紀要 第5巻（2002））によると、「神社の建物をねぐらにして行動しているドバトの7～8羽の群れも、この時期ほとんど見かけず、いつもならハヤブサの捕食によるドバトの羽根の散乱があちこちで発見されるのだが、それもほんの数ヶ所だった。そのかわりと思われるがカラスの羽根の散乱が島で初めて、2ヶ所で観察された。」との記載もあることから、捕食している可能性は高いと考えております。

表5 ハヤブサの餌としての確認種の文献確認結果

種名	文献名	①日本のワシタカ類	②日本動物大百科	③北海道の猛禽類	④神奈川猛禽類レポート	⑤日本野鳥生態図鑑	⑥共同研究	⑦金華山の鳥類相
カルガモ		○ ※1	○ ※6		○ ※7		○ ※9	
ハシビロガモ		○ ※1	○ ※6		○ ※7		○ ※9	
キンクロハジロ		○ ※1	○ ※6		○ ※7		○ ※9	
キジバト		○ ※2		○	○ ※8		○	
カワラバト		○	○	○			○	
アオサギ		○ ※3						
ウミネコ		○ ※4		○			○	
オオセグロカモメ		○ ※4						
チョウゲンボウ		○						
オナガ								
ハシボソガラス								○ ※10
ハシブトガラス								○ ※10
シジュウカラ				○			○	
ツバメ		○						
ヒヨドリ		○	○	○		○	○	
ウグイス								
メジロ								
オオヨシキリ								
ムクドリ		○	○	○			○	
シロハラ								
ツグミ		○ ※5	○	○			○	
ジョウビタキ								
イソヒヨドリ								
スズメ				○			○	
ハクセキレイ				○			○	
タヒバリ								
カワラヒワ				○			○	
アオジ				○			○	

注：1 カワウ・トビ・ノスリは主要な餌資源とならないと考えられるため、除外した。

2 「○」は文献中に餌種として記載されている種または分類群

① 「図鑑日本のワシタカ類」（森岡照明・叶内拓哉・川田隆・山形則男, 1995）

※1 文献中ではカモ類と記載

※2 文献中ではハト類と記載

※3 文献中ではサギ類と記載

※4 文献中ではカモメ類と記載

※5 文献中では大型ツグミ類と記載

② 「日本動物大百科 第3巻 鳥類Ⅰ」（(株)平凡社, 1996）

※6 文献中ではカモと記載

③ 「北海道の猛禽類 -クマタカ, オオタカ, ハイタカ, ハチクマ, ハヤブサ, オジロワシ-」（応用生態工学会 札幌 北海道猛禽研究会, 2013年）

④ 「神奈川猛禽類レポート」（神奈川野生物研究会, 2005年）

※7 文献中ではカモ類と記載

※8 文献中ではハト類と記載

⑤ 「原色 日本野鳥生態図鑑〈陸鳥編〉」（中村登流・中村雅彦, 平成7年）

⑥ ハヤブサ *Falco peregrinus* の繁殖生態 (<http://www.efp.jp/kenkyu/fp/ccdFp.htm>)

北海道南部の内水面の沿岸部で繁殖するハヤブサの連続的なモニタリングの結果

(有限会社エデュエンス・フィールド・プロダクションとハヤブサ研究グループとの共同研究)

※9 文献中では小型カモと記載

⑦ 「金華山の鳥類相 -補遺-」（宮城教育大学環境教育研究紀要 第5巻 (2002)）

※10 文献中では「ハヤブサの捕食と思われるカラスの羽根の散乱が観察された」と記載